

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第41期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）
中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年後半以降の世界経済の急速な変化が下げ止
まる傾向を示す中、各国の政策協調により最悪期は脱
しつつあるものの、未だ先行きの不透明感は拭いきれ
ておらず、これまでの米国を軸とした世界経済秩序は大
きな転機を迎えています。ドルの基軸体制も脆弱化し、
米国一極集中から、多極化の時代へと向かいつつあり
ます。中国、インドなどの新興国が次世代リーダーとして
存在感を高める一方、日本経済は、設備過剰感や企業
収益の悪化を背景に、未だ厳しい局面にたっております。

そのような厳しい経済情勢の中、先の政権交代と、日
本社会は変化のときを迎え、これまでの固定概念から脱
却し、迅速かつ柔軟な変化への対応が企業においても
求められていると考えます。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提
供する — 当社のユニットハウスのレンタルシステムは、
変化し続ける市場への対応であり、今の時代に求めら
れる商機のあるビジネスモデルであると確信しております。

今後も、創業当時から受け継がれてきたフロンティアス
ピリッツ（開拓の精神）を原点に、困難に直面したときこ
そが成長のチャンスであると捉え、鋭意努力を重ねてま
いります。

当事業年度（平成21年4月1日～ 平成21年9月30日）の業績について

ユニットハウス事業部、立体駐車装置事業部の各事
業部について、ご説明させていただきます。

ユニットハウス事業部におきましては、大手ゼネコンを
はじめとする建設着工高減少の影響を受け、建設現場
向けユニットハウスのレンタル受注の落ち込みは予想
以上に厳しいものとなりました。また、ユニットハウスの
販売につきましても、景気後退による、中小企業向け事
務所用ユニットハウスの販売不振の中、展示販売場
での販売強化に努めましたが、総じて厳しい状況で推移
しました。当第2四半期累計期間のユニットハウス事業

の売上高は7,016百万円（前年同期比11.5%減）とな
りました。

立体駐車装置事業部におきましては、当第2四半期
累計期間の売上高は238百万円（前年同期比0.5%増）
となりました。

上記の結果、当第2四半期累計期間売上高は
7,225百万円（前年同期比11.2%減）となりました。また、
利益面におきましては、全社的に諸経費の削減に取り
組みましたが、営業利益231百万円（前年同期比
61.2%減）、経常利益200百万円（前年同期比64.3%
減）、四半期純利益87百万円（前年同期比71.8%減）
となりました。

依然、建設市場全体の先行きは厳しいものとなって
おりますが、主力事業である仮設ユニットハウスのレンタ
ルシェア拡大に引き続き注力するとともに、新たな需要
先の開拓に取り組み、ユニットハウスの市場拡大に努
めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご
指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 **長妻貴嗣**